

レーウエンフックの顕微鏡を作ろう

レーウエンフックタイプ 兵庫県立神戸高等学校 自然科学研究会 生物班

● どんな実験なの？

レーウエンフックは球レンズでつくった自家製の顕微鏡で、初めて微生物の姿を詳細なスケッチにしました。球レンズのかわりにビーズを使ってレーウエンフックが作った顕微鏡を再現し、レンズの仕組みを知ると共にミクロの世界を体験しましょう。



Wikipedia



神戸酒心館HP

レーウエンフックのつくった顕微鏡

● 実験のしかたとコツ

- ① スライドガラスの大きさに切った黒いプラスチック板の中央部に、ビーズ玉より小さい穴を開ける。
- ② ビーズ玉を入れセロテープで裏からとめます。
- ③ スライドガラスの幅の2倍程度の厚紙を2枚細いテープ状にしてホッチキスでとめる。
- ④ プレパラートの作成
スライドガラスの上、中央に見たい物を置き、カバーガラスをかける。(水を一滴垂らしましょう)
これでプレパレートが完成 (図はオオカナダモの葉)



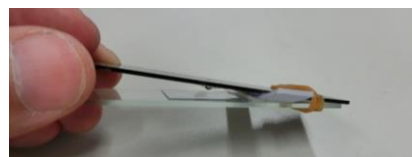
①②



③



④



⑤

- ⑤ レンズ付き黒いプラスチック板の間に厚紙を挟みプレパレートと一緒に (スライドガラス) を輪ゴムでとめる。
レンズが飛び出した方がプレパレートにくっつくようにする。
- ⑥ ピント合わせは、プラスチックの板をつまんでレンズと見たい物の距離を合わせる。



⑥

蛍光灯など明るい方を見たピントを合わせましょう

注意 太陽を見てはダメ

レーウエンフックのスケッチ
昆虫のあし



朝日新聞社